

平成 27 年度 農林水産省農林水産政策研究所 農林水産政策科学研究委託事業

公募受付期間：平成 27 年 4 月 13 日～平成 27 年 5 月 14 日（終了）

【研究テーマ 2】

CSV（共通価値の創造）¹の観点から見た国内外の食品企業の途上国等での栄養改善事業の実態・評価を踏まえた継続的な事業展開モデルの構築に関する研究

【研究テーマの目標】

世界の総人口の約 12%に当たる 8 億 4,200 万人が栄養不足状態にあり、5 歳以下の乳幼児死亡数の 45%が栄養不良に起因する。また、栄養不良は知的・身体的能力の低下を招き、世帯所得が減少し経済発展の妨げとなっている。一方で、エネルギーは満たされていても特定の栄養素が不足する、肥満の蔓延といった問題に直面している国もある。

これらの様々な栄養問題に直面する途上国等に対する日本の貢献が期待されており、既に日本の食品企業が栄養改善に資する事業に取り組む事例も見られる。しかしながら、まだその取組はわずかで、途上国政府の規制や現地企業との連携がうまくいかず、継続的に事業が実施できないケースも少なくない。また、企業の社会的貢献的な活動である CSR（企業の社会的責任）では長続きせず、利益につながるものが具体的に見えない限り、投資という判断にならないという問題がある。

このため、国内外の実態・評価を踏まえ、CSV（共通価値の創造）の概念を活用して「新興国・途上国の自立支援」「将来的な企業の市場開拓」が両立する、食品企業による途上国等での継続的な栄養改善事業展開モデルの構築を目標とする。

【想定される研究課題の例】

- ① 国内外の食品企業の途上国等での継続的な栄養改善事業の成功事例や企業マネジメント分析（当該事業の位置づけ、取組の契機、経営陣の理解、企業内の推進体制、費用対効果等）及び継続的な事業展開モデルの構築に関する研究
- ② 国内外において社会的な価値と経済的な価値を同時に実現する食品企業の定量的・定性的な評価手法に関する研究
- ③ 国内外の食品企業が CSV 活動として行う途上国等に対する栄養改善事業の実態把握（企業内や受益国政府・地域住民等の評価）及び国が行う企業への支援のあり方に関する研究

2 CSV（共通価値の創造）：Creating Shared Valueの略。社会ニーズに対応することで社会的価値を創造しながら経済価値を創造するアプローチ。